（様式１）

令和２年度　泊小学校自己評価表

学校名　湯梨浜町立泊小学校
校長名　栗　原　歳　盛　　　　印

１．学校の教育目標

豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

（１）わかる授業の創造と確かな学力の育成

○１単位時間で本時のねらいを達成できる授業づくりを推進する。
○単元づくりや学習過程を創意工夫し、授業改善に取り組み、言語活動の充実を図る。
○ペア学習・グループ学習や情報機器の効果的な活用方法を工夫しながら、積極的活用を行う。
○少人数指導を生かした個別指導、ＭＩＭ指導、朝の活動、放課後学習等の充実にとともに、一斉指導での個別指導対応を含めた授業改善を図る。
○校内授業研究会を充実し、学校全体での授業スタイルを整えながら授業力の向上を図る。
○本格実施となる外国語科・外国語活動の授業づくりに取り組む。
○家庭学習の手引きや「家庭学習がんばりカード」を活用しながら、家庭学習の習慣化とともに、自主学習につながる家庭学習へつなげていく。
○図書館利用の推進を図り、読書の習慣化を進めるとともに、授業の単元に関する図書の活用の充実を図る。

（２）潮風の中でたくましく生きる心と体の育成

○全校集会（あったか集会、しおかぜ集会等）の取組、縦割り班活動をより充実させる。
○道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、思いやり豊かな心を育成する。
○より良い言葉遣いのあり方については重点的に指導する。
○潮風タイム（業間運動）等、学校全体で取り組み、体力の向上を図っていく。
○食育指導を行い、健康な体づくりに関心を持たせるとともに、児童の基本的な生活習慣に関する意識の向上を図る。

（３）ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり

○地域教材・人材等を生かした総合的な学習の時間の推進を図る。
○特色ある教育活動とふるさと学習の充実を図りながら推進するとともに、招待給食・しおかぜカフェの取組の充実をさせ、家庭・地域と共通の目標に向かってともに歩んでいく。
○学校だより、学級だよりを創意工夫し、子どもの活動の様子・子どものよさを積極的に情報発信する。
○ホームページを活用し、旬な情報を発信する。

３．年度当初の評価項目

評価項目	①現状	②めざす姿	③具体的方策	④評価の方法
○わかる授業の創造と確かな学力の育成	・国語科の研究２年目として、学校全体で授業実践を積み上げた。児童の「書くこと」への意欲が少しずつ高まり、指導事項が定着してきている。継続して取り組む必要がある。 ・友だち同士での関わり合いを大切にして学習に取り組んだ。ペア、３人組、グループなど少人数での話し合いを多く取り組むことで、いろいろな意見を聞く楽しさを難じながら、自分の考えを広げ深めることにつながってきた。さらに積み上げていきたい。対話的な学習になるよう学習展開していく。 ・「話すこと・聞くこと」の育成に向けて、目指す授業像、児童像を系統立てて明確にして取り組んでいきたい。授業改善に取り入れていきたい。 ・日記指導、読書の習慣化等日常生活で活用することで積み上げていく方策を検討したい。 ・電子黒板等 ICT 機器の効果的活用も研究していく。 ・外国語活動の授業改善を進めたい。	・国語科の校内授業研究会が充実し、授業力を高めることができる。進んで自己研鑽に努めている。 ・単元計画、評価計画を立て、１時間単位で本時のねらいを達成できる授業づくりを推進する。 ・基礎的、基本的な学習内容が定着し、意欲的に学習に取り組むことができる。 ・課題を自力で解決し、自分の考えを進んで発表し合い、わかりやすく伝え合うことで、一人一人の考えを深めていくことができる。 ・外国語活動・外国語に興味・関心を持ち、進んで会話を楽しむことができる。 ・家庭学習の習慣を身につけ、自ら学ぶ力を高めることができる。 ・図書館を活用し、読む楽しさを感じながら読書の習慣を身につけることができる。	・校内授業研究会で協議したことを共通実践としてまとめ、日々の授業に生かし、授業力の向上をめざす。 ・ねらいを明確にし、１時間内で目的を達成できる授業づくりに努める。 ・発問、思考力を深める場面の設定を工夫する。また、ねらいを明確にしたペア学習やグループ学習場面の設定を工夫する。 ・少人数指導を生かしながら、個に応じた学習指導を進め、基礎学力の定着を図る。 ・情報機器の効果的な活用を工夫する。ＩＣＴ支援員との連携により資料作成、授業改善を進める。 ・校内研修を行い、外国語活動・外国語の授業改善を図る。 ・「家庭学習の手引き」「家庭学習がんばりカード」を活用していく。学級懇談、学期毎の学級指導、通信等機会を捉えて啓発等を行う。 ・図書館利用の推進、授業の単元に関する図書の活用の充実を図り、児童の読書の習慣化を図る。	・日々の学習指導と観察 ・学習アンケート （１回目と２回目の改善点を考察する） ・児童アンケート ・保護者アンケート ・児童の発言内容 ・児童のコミュニケーション ・がんばりカードの記載内容 ・児童アンケート ・保護者アンケート

○潮風の中でたくましく生きる心と体の育成	・自分たちの生活や学級の課題を資料化し、話し合うことができた。今後も身近な実態をもとに資料化し、自分を見つめたり、考えを深めたりしていく学習を進めたい。 ・あったか集会を中心にしながら自分たちの課題に気づき、生活の改善につながった。まだ、友だち同士になったりすると言葉遣いや友だちの呼び方等課題が残っている。あいさつについても引き続き意識付けを続けたい。 ・体力づくりについて、ひとつひとつ自分の目標を立てながら取り組み、体力づくりの面で底上げがなされつつある。 ・健康心身をつくる上で、メディアとの関係に課題がある児童が比較的多い。生活習慣の確立への啓発が課題である。	・学校全体で共に生きていこうとする雰囲気ができている。 ・言葉遣いに気をつけて、思いやりのある言動を行い、学級の仲間とより良い人間関係を築くことができる。また、一人ひとりに合った指導を行い、充実した学校生活を送ることができる。 ・児童の生活をしっかり見つめ、いじめのない、安心できる生活を構築する。 ・自分で、具体的な目標を設定し、体力の向上をめざして毎日の活動に取り組むことができる。 ・食育に関心を持ち、健康な体づくりに取り組むとともに、基本的な生活習慣に関し、意識しながら生活することができる。	・全校集会、縦割り班活動をより充実させる。 ・道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進し、自他を大切にし、思いやり豊かな心を育成する。（道徳授業研修の推進、身近な問題の教材化） ・言葉遣いの指導について重点的に指導する。 ・いじめに係る児童の実態を把握しながら、毎月定例で生徒指導事例を考察し、指導に生かす。 ・潮風タイム（業間運動）を活用し、自己目標を設定しながら、体力の向上に取り組ませる。 ・栄養教諭の指導や委員会の活動での取り組みを継続し、食育を推進し、健康な体づくりに関心を持たせるとともに、テレビ視聴時間やゲーム使用時間についても意識していけるようにする。	・児童の発言内容、集会の雰囲気 ・授業後の感想内容 ・学校全体での取り組み方 ・児童への支援のあり方と児童の変容 ・体力テスト ・マラソン大会記録 ・児童アンケート ・保護者アンケート
○ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり	・地域の方にたくさんかかわっていただいている。ゲストティーチャーだけでなく、地域のボランティアのみなさんとの交流も深めたい。 ・学校からのたよりやホームページ等での情報発信に努力した。さらに情報発信に心がけ、工夫して取り組む。	・ふるさとと泊小学校の教育環境の素晴らしさに気づき、誇りに思い、母校を愛することができる。また、地域の方への感謝の気持ちを深める。 ・学校だより、学級だより、ホームページを創意工夫し、保護者や地域に積極的に情報を発信している。	・計画に基づく総合的な学習の時間の充実に努める。 ・地域の施設や外部人材を活用し、特色のある教育活動とふるさと教育を推進するとともに、メッセージを伝え合う機会を工夫して招待給食・しおかぜカフェの取組を充実させ、双方向の活動となるように進める。 ・学校だより、学級だよりを創意工夫し、子どもの活動の様子・子どものよさを積極的に情報発信する。 ・ホームページを活用し、旬な情報を発信する。	・児童アンケート ・保護者アンケート ・学校一斉公開アンケート ・地域の方の声

○その他（自由記述で）				